



構造変革と次世代の覇者： AI時代のSier生存略

システム開発業界を襲う不可逆な地殻変動と、その中で勝利を収めるための戦略的提言

システム開発業界は歴史的な転換点にあり、勝者と敗者への道が明確に分断されつつある

市場は一見好調に見えるが、その根底にある労働集約的・多重下請け構造を前提とした旧来のビジネスモデルは、もはや持続可能性の限界に達している。業界は、二つの未来へと明確に分断されている：

敗者の道

価格競争と利益率低下に喘ぐ
「コモディティ化した労働力提供者」

勝者の道

顧客の事業成果に貢献する
高付 価値な「DX共創パートナー」

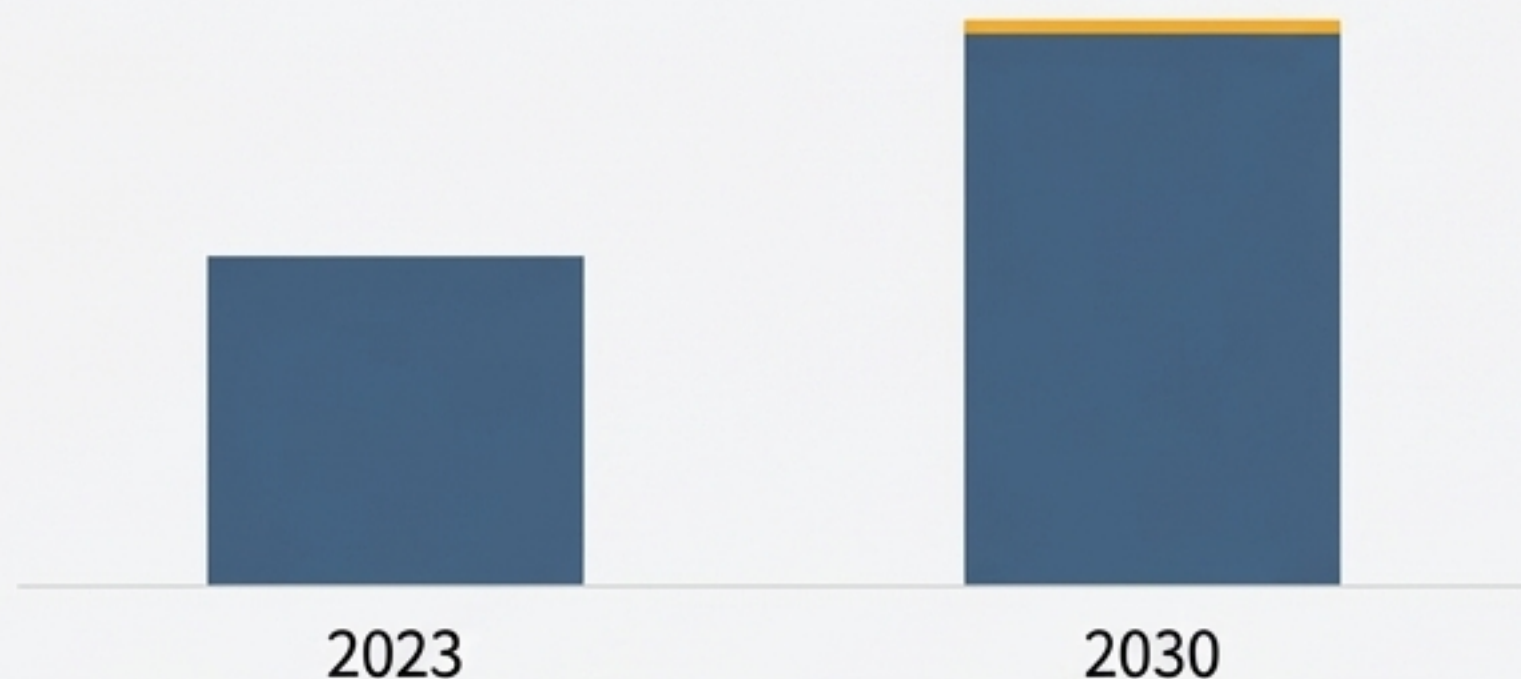


旺盛なDX投資に支えられ、システム開発市場は国内外で堅調な成長を続けている

世界市場

CAGR +13.8%

2030年には9,552億ドル市場へ

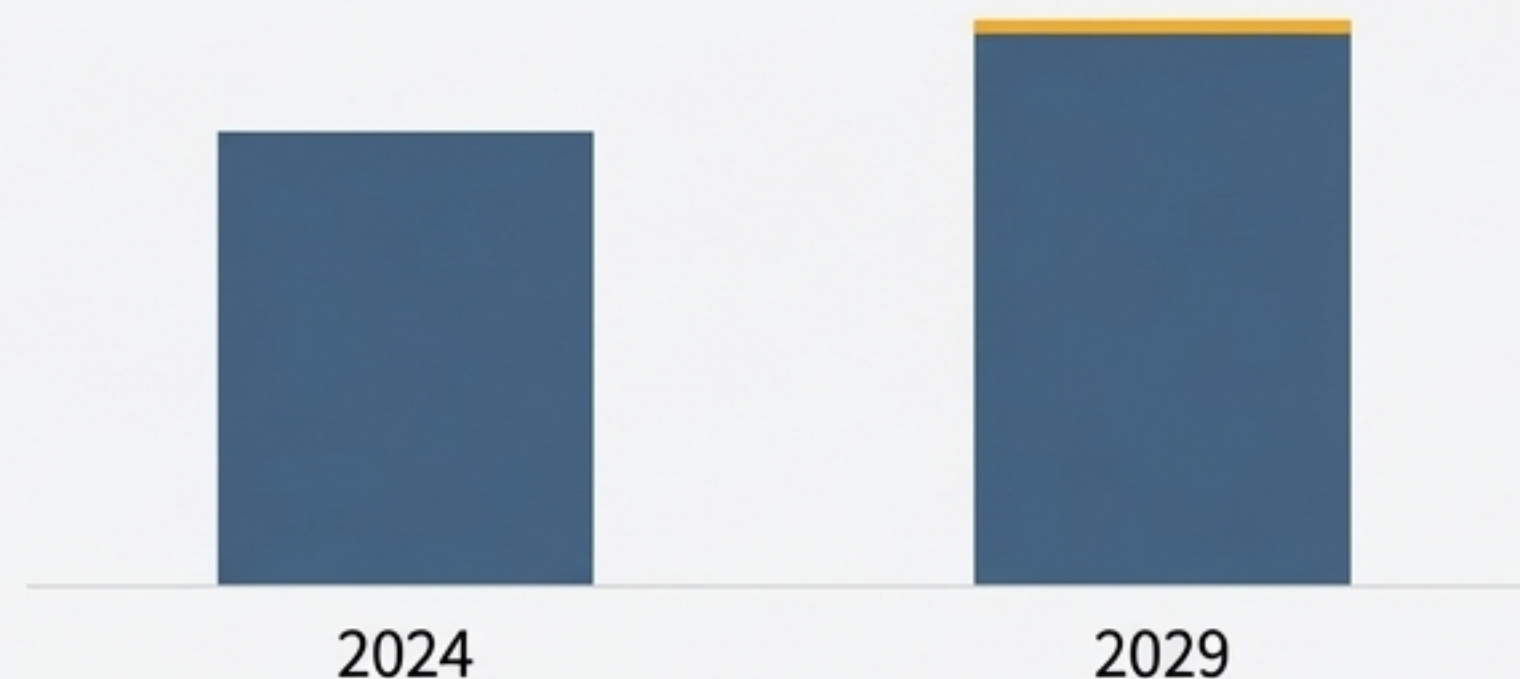


Source: Grand View Research

国内市場

CAGR +6.6%

2029年には9.7兆円市場へ



Source: IDC Japan

主要成長ドライバー：企業のDX投資、レガシー刷新需要（2025年の崖）、政府のデジタル化推進

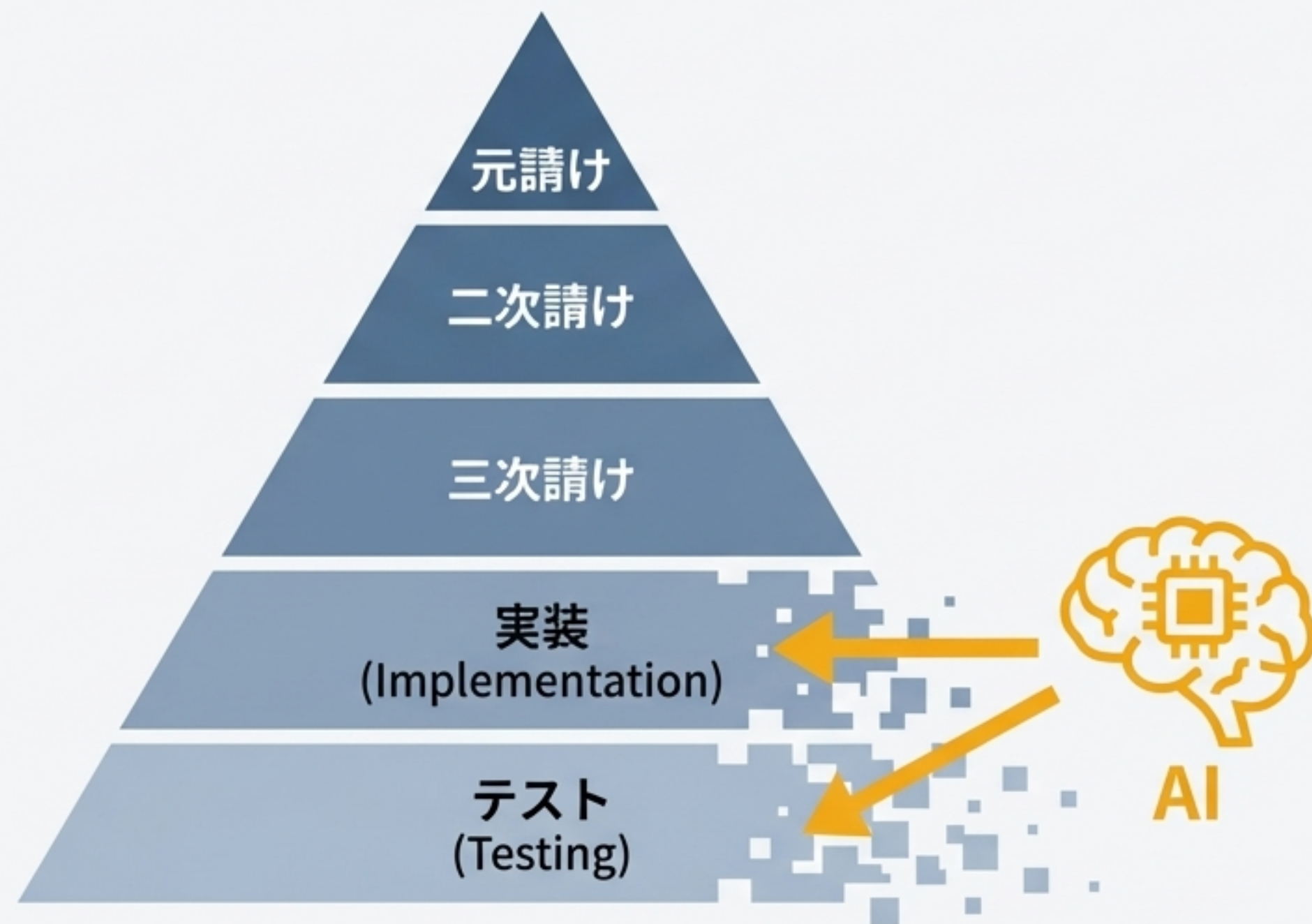
しかし、市場成長の裏で「AIによる開発革命」と「深刻な人材枯渇」という二つの巨大な潮流が、旧来のビジネスモデルを根底から揺るがしている



伝統的なSIerは5つの競争要因すべてから圧迫され、利益が急速に縮小する「グレート・スクワイージング」に直面している



生成AIが下流工程を自動化することで、労働集約的な多重下請け構造の経済合理性が崩壊し始めている



最大55%短縮

GitHub CopilotのようなAIツールは、開発タスク完了時間を短縮する。

約6割

下請企業の労働生産性は元請企業の約6割に留まり、構造全体の非効率性が露呈している。

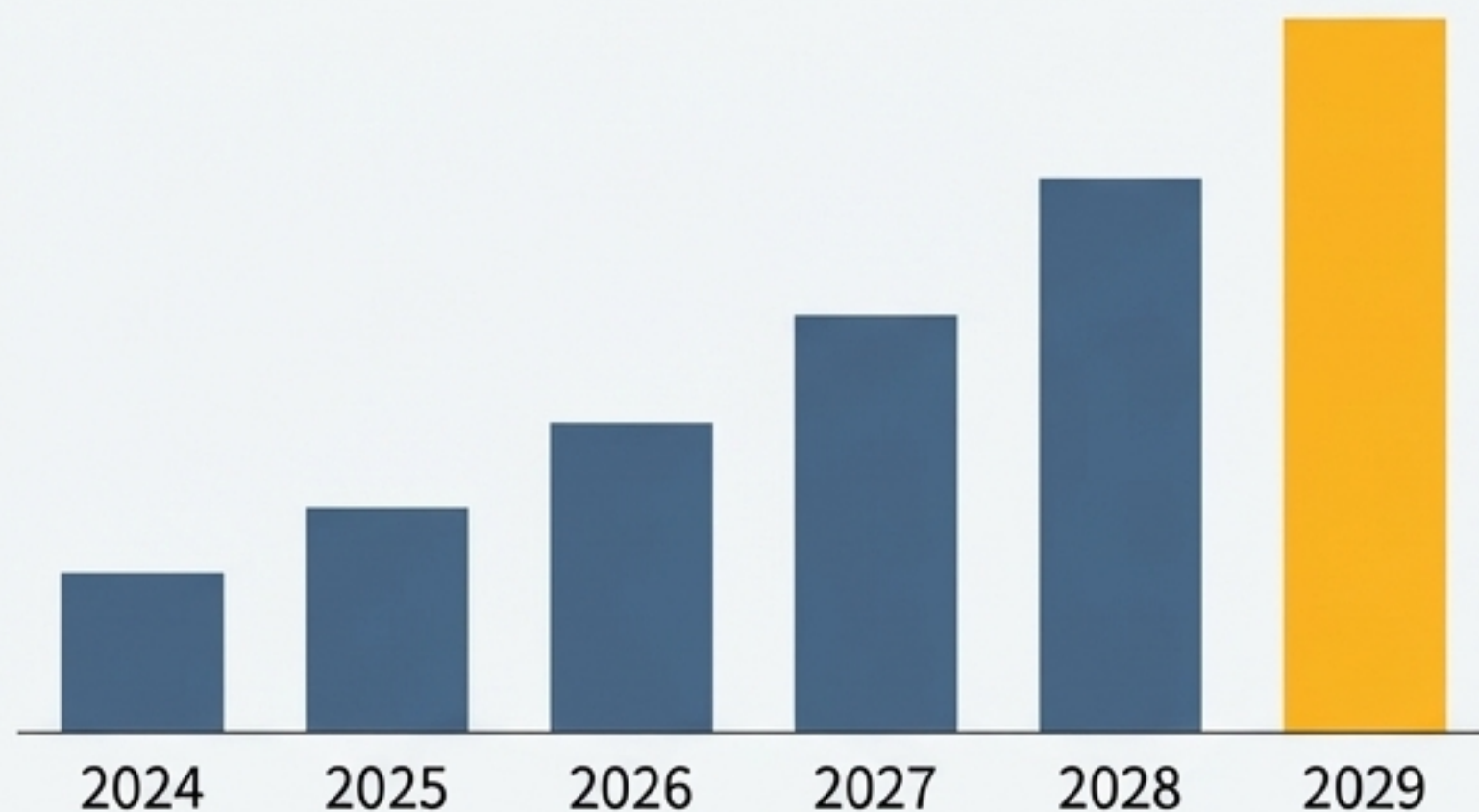
市場機会が最も大きい先端領域ほど、深刻な人材不足に直面するという「成長のパラドックス」が企業の足枷となっている



機会: Opportunity

国内AIシステム市場の爆発的成長

CAGR +25.6%



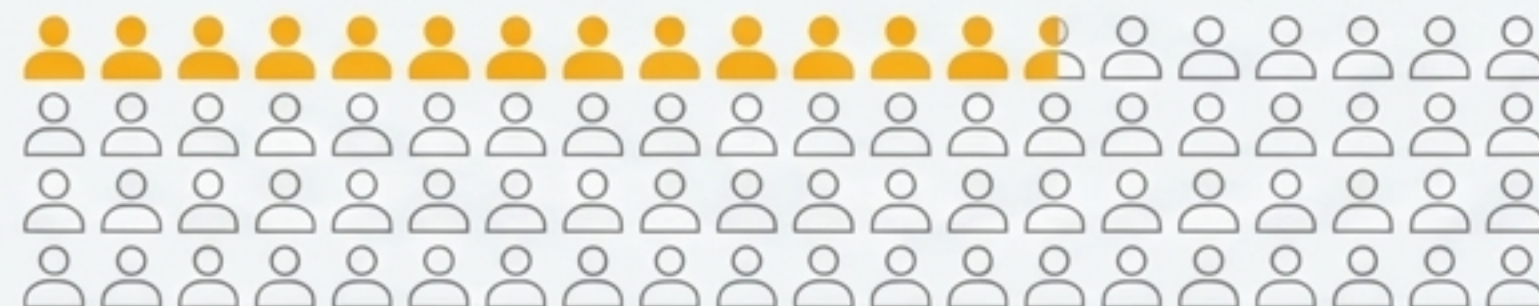
危機: Crisis

成長を担う人材の枯渇

17.4%

DX推進担当の人材充足率

- フリーランス市場（平均月単価 **82.2万円**）との人材獲得競争が激化。
- 日本のエンジニア給与は世界31位。グローバルな人材獲得競争で不利な状況。



次世代の覇者となるためには、事業規模ではなく、3つの新たな競争優位性を確立することが絶対条件となる



1. タレント・ アクイジション

トップ1%の高度人材を惹きつけ、維持する組織能力。



2. AIドリブン・ オペレーション

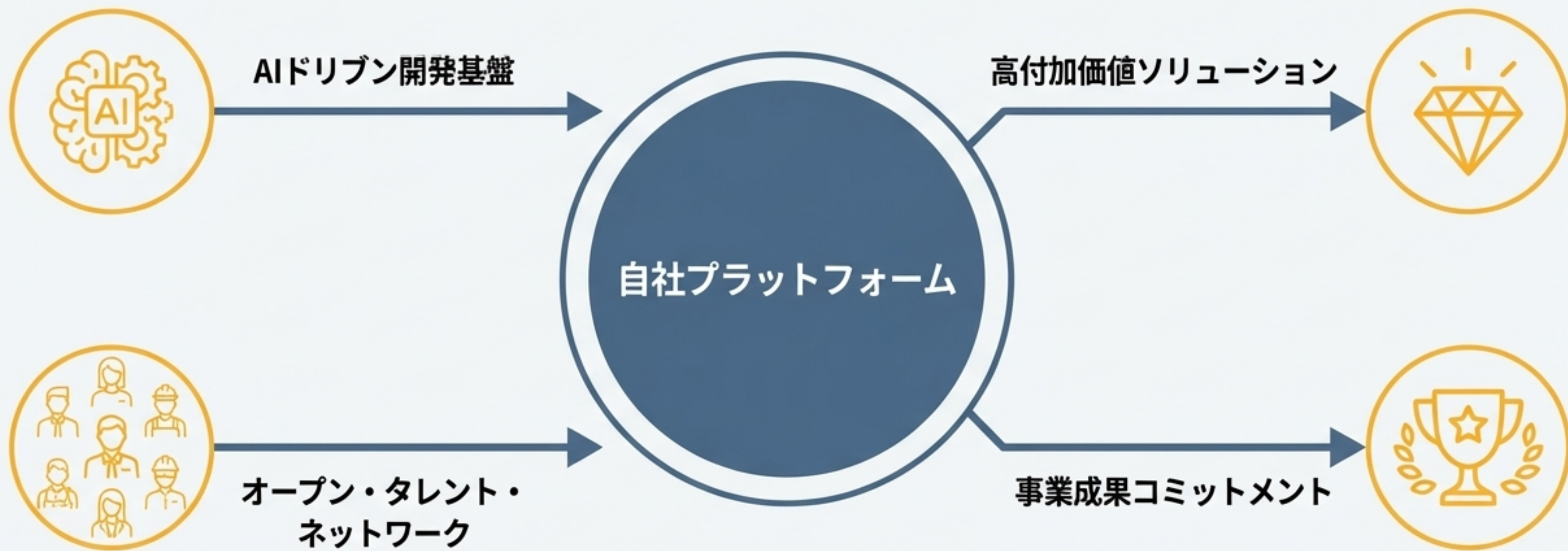
AIを事業のOSとしてバリューチェーン全体に組み込む遂行能力。



3. バリュー・ プロポジション

「請負人」から、顧客の事業成果にコミットする「共創パートナー」への変革。

目指すべきは、AIによる圧倒的な生産性と、社内外の才能を柔軟に組み合わせる「AIドリブンなオープン・タレント・プラットフォーム」である



この変革は、3つのフェーズからなる実行計画を通じて、段階的かつ確実に実現する

フェーズ1: 基盤構築 (Year 1)



アクション

全社へのAIツール導入、AI
専門組織(CoE)設立、フリー
ランス活用の試験導入



目標KPI

生産性 **+20%** 向上

フェーズ2: 拡大と浸透 (Years 2-3)



アクション

自動化範囲の拡大、FMS導入
による外部人材管理、成果報
酬型案件の開始



目標KPI

開発リードタイム **30%** 短縮

フェーズ3: プラットフォ ーム化 (Years 4-5)



アクション

独自AIモデル構築、オープンな
協業プラットフォーム形成、
業界特化ソリューション展開



目標KPI

**プラットフォーム経由での
売上比率確立**

主要プレイヤーは既に「AI」と「人材」を軸とした変革に着手しており、行動の遅れは致命的となる



Accenture

データ&AI領域に**30億ドル**を投資。専門人材を**8万人**に増強計画。



富士通

SIからサービスモデル「Uvance」へ転換。コンサルタントを**1万人**に増強計画。



TIS

成長投資**1,000億円**を計画。
うち**700億円**をM&Aに充当。



日立製作所

デジタル事業「Lumada」が中核。GlobalLogic買収でグローバルな開発能力を強化。

現状維持は緩やかな衰退を意味する。今、大胆な自己変革を断行することこそが、次世代の覇者となる唯一の道である

コモディティ化した労働力提供者

- ⬇ 価格競争
- ⬇ 人材流出
- ⬇ 利益率低下

DX共創パートナー

原動力:

AIドリブン基盤

オープン・タレント

事業成果への貢献